

全校集会での校長講話 — 今なぜALなのか —

12月22日（金）の**冬季休業前**の全校集会での**校長講話**（要旨）を掲載します。

◆2017年12月22日の校長講話◆ 「今なぜアクティブ・ラーニングなのか」

- 私は、2015年4月に**牛久高校**の校長になったときから「アクティブ・ラーニング」について研究を始めました。最初は本で勉強したり、近隣の中学校で実施されていた「**学びの共同体**」の見学に行きました。そして、その年の夏から頻繁に**東京でのセミナー**に行くようになり、自分自身が「アクティブラーナー」になりました。文部科学省で開催されていた関連会議の傍聴にも3回行きました。
- 翌2016年4月に並木中等教育学校の校長になりました。2016年5月には「**R80**」を考案しました。今「R80」は全国の多くの学校で採用され、生徒たちの「**論理力**」の育成に役立っているようです。さらに、縦割りの学習である「**T0学習**」を考案しました。すでにほとんどの皆さんは体験したと思います。ほぼ毎回、見学していますが、皆さんの「笑顔」がとてもいいです。今「T0学習」も全国に広めているところです。
- 私は、現在「**アクティブ・ラーニングの伝道師**」と呼ばれるようになりました。講演会・研修会の講師だけでなく、雑誌のインタビューを受けたり、教育雑誌に原稿を書くなどしています。それと並行して、本校は、全国でも注目される「**アクティブ・ラーニング先進校**」になりました。私は「**種蒔く人**」として種を蒔いただけで、その種を開花させてくれたのは、先生方であり、皆さん方の「学び」に対する積極的な姿勢だと感じています。
- ところで「**今なぜアクティブ・ラーニング**」なのでしょう。よく、「今から10年～20年後には、半分の仕事がAIやロボットの発達によって**なくなる**」といわれます。でも正確には、なくなるのではなく「**変わる**」ということであり、実際には世の中の仕事はすでに変わっています。
- また、3年後に大学入試が大きく変わります。現在のセンター試験がなくなり「**大学入学共通テスト**」が始まります。現在の3年次生からです。その中では、国語と数学には記述式問題が入りますし、全ての教科で**読解力・思考力・論理力**が問われます。一言で言うと、「**考える問題**」が多くなるということです。ても、みなさんは、大丈夫です。本校では、昨年从那その対応をはじめています。「R80」の活用や、**論理力の育成**を進めていますので、日々の授業で十分新しいテストに対応できます。ご安心ください。
- 先月、その新テストの試行調査(プレテスト)が全国で実施されました。皆さんには、12月5日の新聞に掲載された、**国語の記述式問題**をぜひ解いて欲しいと思います。5年次生は全員受験しましたね。その問3には、回答に際し以下のような指示がありました。80字～120字、**2文構成**、**2文目の最初には接続詞「しかし」**を必ず使うというものです。鳥肌が立ちました。「R80」とほぼ同じだったからです。
- さて、だから「アクティブ・ラーニング」なのでしょう。実は、私も講演会では、「世の中の変化」「大学入試の変化」に対応するために「**アクティブ・ラーニング**」が**必要な時代です**。という論調で話していたことがありました。しかし、今はそれだけではないと感じています。9月29日の終業式でも話した、哲学者**苫野一徳さん**は、こういいました「**人は恐怖では、本当には動かない。人は喜びによって動く**」と。私は「ハッ」としました。
- 「世の中が変わる」「入試が変わる」というのは「**恐怖**」です。だから「アクティブ・ラーニング」なのかと。私は、「アクティブ・ラーニング」を実施している皆さんの姿、先生方の姿をよく見ますが、そこには「**喜び**」「**笑顔**」があふれています。皆さんは、**学ぶ楽しさ**、後輩に教えてあげた時の喜び、先輩に教えてもらった喜びを、感じているのではないのでしょうか。最近私は、第一には純粋に「**学ぶ喜びを感じるため**」とすることにしています。「恐怖」による動機付けは、その次でいいと思うようになりました。
- そして、講演のまとめとして「**アクティブ・ラーニングで幸せになる**」と言っています。「アクティブ・ラーニング」は、皆さんの幸せ、先生方の幸せ、世の中の幸せにつながるものだと考えています。並木中等教育学校は、「**幸せ**」を求めて、これからも「アクティブ・ラーニング」を推進し、日本の「**学びの改革**」のリーダーとして歩いていくことでしょう。**その主役は、皆さん自身です**。これからも、一緒に学んでいきましょう。